

2026年度 長岡大学シラバス

授業科目名	憲法 (Constitution)					担当教員	佐々木 久美子 (ササキ クミコ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目/知識定着・確認 型AL
	2013-0-13-032	教養科目	選択	2単位	1年次	前期		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目/知識定着・確認 型AL
	2413-0-13-030	教養科目	選択	2単位	1年次	前期		

① 授業のねらい・概要						
<p>憲法は、様々な法律の元になっており、私達の生活に密接な関係がある。                  本講義では、国の基本法である日本国憲法の原理・考え方を理解すると共に、憲法を中心とした法の基礎概念を身に付けることを目的とする。また、憲法の三大原則とされる国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を的確に理解するため、判例等から学びを深める。                  なお、憲法は公務員試験において必須であるため、本講義での学びは公務員試験対策としても有用である。                  (関連資格・試験：公務員試験関連科目)</p>						
② ディプロマ・ポリシーとの関連						
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力						
③ 授業の進め方・指示事項						
講義形式の授業を行う。授業では随時、小テスト等を実施し、反復による知識の定着を目指す。受講後は、次回の受講に向けた各自の復習が必要である。						
④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能						
法律科目(行政法、民法、商法)を履修することが望ましい。						
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。						
TAC株式会社(公務員講座)編著 (2024) 『公務員試験 過去問攻略Vテキスト 3 憲法 新装版』TAC出版						
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。						
伊藤真(2022)『伊藤真の憲法入門』日本評論社 早川 兼昭(2023)『みんなが欲しかった!公務員 憲法の教科書&問題集』TAC出版 : テキストの理解を深めるための副読本として推薦する。						
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)						
本講義で学んだ知識から、憲法が自身の暮らしにどう関係しているのか、身近な問題やニュースにも着眼しながら考えを深めてもらいたい。						
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安						
(1) 日本国憲法の基本原理や特徴、基本的人権について理解し、説明することができる。 (2) 日本国憲法の統治に関する規定について理解し、説明することができる。						
⑨ ルーブリック						
評価基準		S	A	B	C	D
評価項目		到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(1)	日本国憲法の基本原理や特徴、基本的人権に関する理解・説明	日本国憲法の基本原理や特徴、基本的人権に関し、授業内容を越えた学修成果を示せる。	日本国憲法の基本原理や特徴、基本的人権に関し、授業の全般的な内容を独力で説明できる。	日本国憲法の基本原理や特徴、基本的人権に関し、授業の要点にあたる内容を独力で説明できる。	日本国憲法の基本原理や特徴、基本的人権に関し、授業の要点にあたる内容をある程度説明できる。	日本国憲法の基本原理や特徴、基本的人権に関し、説明ができない。
(2)	日本国憲法の統治に関する規定の理解・説明	日本国憲法の統治に関する規定について、授業内容を越えた学修成果を示せる。	日本国憲法の統治に関する規定について、授業の全般的な内容を独力で説明できる。	日本国憲法の統治に関する規定について、授業の要点にあたる内容を独力で説明できる。	日本国憲法の統治に関する規定について、授業の要点にあたる内容をある程度説明できる。	日本国憲法の統治に関する規定について、説明ができない。

⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 取組姿勢・意欲	その他	合計	
総合評価割合	70%				30%		100%	
(1) 日本国憲法の基本原理や特徴、基本的人権	40%				15%		55%	
(2) 日本国憲法の統治に関する規定	30%				15%		45%	
評価項目「その他」詳細								
フィードバックの方法	小テスト等は実施後に解説を行う。							
⑪ 授業計画と学習課題								
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）						
1	オリエンテーション（授業の進め方など） 憲法とは（憲法の基本原理）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
2	基本的人権—総論（基本的人権の原理）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
3	基本的人権—総論（基本的人権の限界）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
4	基本的人権—総則的権利	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
5	基本的人権—精神的自由権（思想・良心の自由）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
6	基本的人権—精神的自由権（学問の自由）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
7	基本的人権—精神的自由権（表現の自由）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
8	基本的人権—経済的自由権	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
9	基本的人権—社会権	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
10	統治—統治総論・国会（国会とは）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
11	統治—統治総論・国会（国会・議院の権能）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
12	統治—内閣	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
13	統治—裁判所（司法権）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
14	統治—裁判所（違憲審査権）	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
15	統治—地方自治・その他	授業範囲のテキストを確認・復習し、演習問題を解く。						120分
⑫ アクティブラーニングについて								
知識定着・確認型ALを採用する。授業では随時、小テスト等を実施し、憲法における基礎的な知識の定着を図る。また、公務員試験対策問題などを活用し、応用力を高める。								

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
金融機関において営業推進業務、融資関連業務、資産運用業務などの経験がある。 また、現在は行政書士事務所を運営し、官公署への各種許認可申請や関連支援・相談対応を行っている。特に、出入国在留管理局への申請や法務局への帰化申請、外国人材雇用におけるコンサルティングなどを専門とする。
実務経験と授業科目との関連性
官公署への許認可申請などの実務経験に関係する各種法令等は、憲法を基礎として成り立っているものであり、授業科目と関連深い。そのため、上記の実務経験が本講義の実施に活かされることとなる。